対象患者：胃癌
レジメン名：Cape+CDDP+T-mab
1コースの日数：21日

催吐性リスク：高度
血管外漏出リスク
シスプラチン：報告なし
トラスツズマブ：非壊死起因性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day									
						1	2	～	8	～	15	～	21		
1	硫酸Mg補正液 生理食塩液	8mEq 500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○									
2	維持液	500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○	○								
3	維持液	500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○	○								
4	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○									
5	トラスツズマブ 生理食塩液	8mg/kg(1回目) 6mg/kg(2回目以降) 250mL	点滴静注	メインルート	1時間30分(1回目) 30分(2回目以降)	○									
6	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○									
7	パロノセトロン デキサメタゾン	0.75mg 9.9mg	点滴静注	メインルート	30分	○									
8	マンニトールS注射液®	300mL	点滴静注	メインルート	1時間	○									
9	シスプラチン 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○									
10	酢酸リンゲル液	500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○	○								
11	維持液	500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○									
12	維持液	500mL	点滴静注	メインルート	2時間	○									

点滴順序(day1)：Rp1→2→3→4→5→6→7→8→9→10→11→12
点滴順序(day2)：Rp2→3→10
投与時間(day1)：17時間(1回目)、16時間(2回目以降)
投与時間(day2)：6時間

備考：
上記と合わせてカペシタピンを下記の用法・用量にてday1の夕食後から開始し、day15の朝食後まで内服する。
・BSA<1.36：2400mg/day 分2
・1.36≦BSA<1.66：3000mg/day 分2
・1.66≦BSA<1.96：3600mg/day 分2
・1.96≦BSA：4200mg/day 分2
day1は午前7時より開始する(前日に実施確定を確認する)。
day2は閉鎖式接続器具(ケモセーフロック®)を使用しない。
制吐剤として下記を内服する。
・アプレピタント125mg/day 分1(day1)、80mg/day 分1(day2-3)
・オランザピン5mg/day 分1(day1-4) *糖尿病既往の患者は使用禁止
・デキサメタゾン8mg/day 分2(day2-4)